

全国

ぜんこく
しぎかいじゅんぼう

平成22年 7月15日
(2010年) 毎月3回5の日に発行

第1766号
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03(3262)5234
旬報 TEL 03(3262)2309
発行人 大竹 邦実

http://www.si-gichokai.gr.jp

市議会旬報

全国市議会議長会基地協議会(会長 石川一郎・千歳市議会議長)は7月5日、東京・全国都市会館で理事会を開催し、基地対策関係施策の充実強化に関する要望をまとめた。

6月に閣議決定された財政運営戦略では、国の財政健全化に向け抜本的な改革に着手するとされており、これから年末の政府予算編成に向けて、厳しい折衝が予想される。そのため、重点要望として▽総務省所管の基地交付金・調整交付金の所要額確保等▽防衛省所管の基地周辺対策経費の所要額確保等——などを

基地調整 交付金の所要額確保 基地協が理事会後実行運動

基地協が理事会後実行運動



岡本充功・民主副幹事長(左)に面談する新旧会長



三島進・新会長(松江市)

公営交通議長会が総会 新会長に松江市議長を選任

全国公営交通事業都市議長会(会長 住野勝美・明石市議会議長)は7月6日、東京・全国都市会館で総会を開催。任期満了に伴う役員改選を行い、新会長に三島進・松江市議長を選任するとともに、平成23年度公営交通事業関係予算に関する要望を決定した。



住谷幸伸・高速協会長(高松市)

高速道路の建設促進を 高速協議会が役員会を開催

全国高速自動車道市議会協議会(会長 住谷幸伸・高松市議会議長)は7月1日、高松市内で正副会長・監事・相談役会議を開き、高速道路建設促進に関する要望をまとめた。

より、極めて厳しい経営状況が続いている。そのため要望には▽地方交付税による財政措置の充実強

化▽地域住民のバス路線維持及び生活交通確保の財政措置強化——などを盛り込んだ。これら要望の実現を求め、総会の翌7日には三島新会長と住野前会長が、岡本充功・民主党副幹事長らに面談する

このほか総会当日は、総務省自治財政局の笠井敦・公営企業経営企画室長が「公営交通事業の現状と課題」、国土交通省自動車交通局の黒岩勉・旅客課長補佐が「バス行政の現状と課題」について説明した。

掲げた。理事会終了後、正副会長らによる実行運動班を編成し、基地対策関係の予算確保に向け、糸川正晃・民主党副幹事長に面談、要望するなど関係方面に要請活動を行った。



糸川正晃・民主副幹事長(左から5人目)に要望する実行運動班

高速自動車国道は、流通や観光などの経済効果によって各地方が個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するための重要な社会基盤であるとともに、広域救急医療や災害時の緊急輸送などに資する「命の道」である。しかし、高規格幹線道路網1万4000kmの供用率は依然として6割台に過ぎない。高速道路は未開通区間(ミッシングリング)が解消されてこそ、その効果を最大限に発揮するものである。既存の高速道路の有効的な活用を促すためにも、一刻も早いネットワークの完成が待たれる。そのため要望では▽地域高規格道路の整備促進の予算確保▽高速道路新料金制度の全国一律の体系▽スマートインターチェンジの整備促進——などを求めている。

政 市 ニュース

瀬戸内に浮かぶ7つの島を舞台に、玄関口となる高松港から船出、各島を巡り鑑賞する現代アートの祭典が開かれます。高松市などで構成する実行委員会主催の祭典名は「瀬戸内国際芸術祭2010」。7月19日から10月31日まで開催される芸術祭では、各島で営まれてきた生活や歴史に焦点を当てるとともに、各島固有の「民俗」と「現代アート」とを融合させ、訪れる者すべてに対し瀬戸内の魅力を存分に伝える場の提供を目指しています。18の国と地域から75組のアーティストやプロジェクトが参加する芸術祭は、地域と世界が交わる契機づくりをも目指しています。

「非日常」を体感・7つの島へ

アートと海を巡る百日間の冒険

瀬戸内国際芸術祭2010——高松市(香川県)

舞台はいにしへの文化が息づく島々

古来より交通の大動脈として重責を担ってきた瀬戸内海では、行き交う船が瀬戸内海に浮かぶ島々にも立ち寄り、常に新しい文化や様式を各島

へと伝えてきました。各島に伝わった文化や様式は、次第に島固有の民俗として醸成され、「美しい景観」「伝統的な風習」として現代に至るまで受け継がれています。

瀬戸内国際芸術祭の舞台となる7つの島々も、いにしへの時代から新しい文化や様式をもたらされてきた島々に含まれます。今回の芸術祭では、「現代アート」という新たな文化が世界各国・各地域からもたらされ、各島固有の民俗と融合させることで、瀬戸内

の魅力を改めて国内外へ発信するねらいがあります。

芸術祭の舞台となる7つの島は、直島(なおしま)、豊島(てしま)、女木島(めぎじま)、男木島(おきじま)、小豆島(しょうどしま)、大島(おおしま)、犬島(いぬじま)。各島に加え、島々を結ぶ航路の玄関口・高松港周辺でも、現代アートが展開されます。7つの島々に散りばめられたアートを道標に海を巡る冒険、それが「瀬戸内国際芸術祭2010」です。



段々畑のように密集した男木島の民家。瀬戸の小島ならではの風情がある

7つの島々にはそれぞれの顔が

各島には独自に育まれてきた歴史や風俗など、それぞれの顔があります。愉快な顔、楽しい顔、美しい顔、おいしい顔、近代化産業を担ってきた顔、そして悲しい顔。7つの島が持つ様々な顔も含め、芸術祭では現代アートの舞台としていきます。

愉快な顔を持つ島といえば女木島。桃太郎伝説を残す大洞窟が女木島にはあり、別名を「鬼ヶ島」といいます。夏は海水浴やキャンプが盛んで、女木島から望む高松の夜景も美しく、楽しい顔を持つ島でもあります。

また、直島は、現代アートの聖地として世界的に名を馳せています。豊かなアート施設や高い知名度を活かし、芸術祭の中心的な役割が期待されています。やはり、この島も楽しい顔を持っているといえるでしょう。

明治42年に開設されたものの約10年で操業を終えた「犬島精錬所」をもつ犬島は、近代化産業を担ってきた顔を持つ島。平成19年に経済産業省から「近代化産業遺産群」として認定された島であると同時に、精錬所を活用した現代アートが展開されている島でもあります。

このほか、悲しい顔を持つ島が大島。明治42年にハンセン病の療養所が大島に設立されて以来、国の誤った政策により強制隔離政策の現場となった島です。悲劇の過去を持つ

【3面へ続く】

【2面から続く】

つ島といえます。芸術祭の開催にあたって

出展作品は18の国と地域から75組が

総合プロデューサーとして芸術祭の指揮を取るのは、財団法人直島福武美術館財団理事長を務める福武総一郎氏。同財団は、「直島アートサイト」や、旧精錬所遺構を生かしながら循環型社会のモデルとして提示した「犬島アートプロジェクト」を展開する現代アートの先駆者的存在として、世界的に著名です。

同財団の呼びかけもあり、芸術祭には18の国と地域から75組が参加。作品は、7つの島と高松港を中心とする地域に展示され、鑑賞者の目を惹きつけるだけでなく、身体をも楽しませます。

直島に出展する作品「I♥湯」は、実際に入浴できる美術施設。▽銭湯として島民から日常的に使用されること▽現代アートとして成立すること——の両立を目指した作品として注目が集まります。このほか、高松港などで展

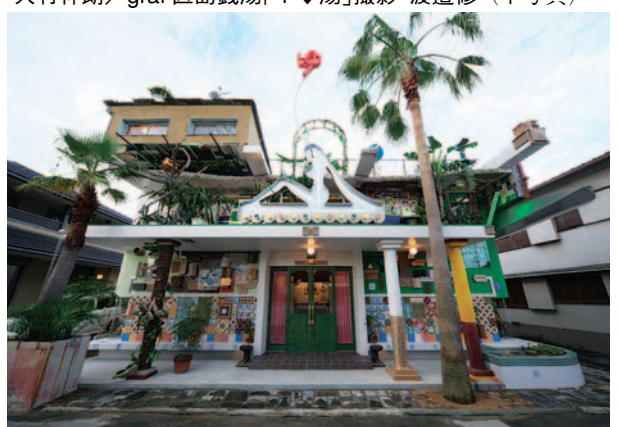
は、各島が持つ様々な顔を踏まえた展開方針を設け、準備が進められてきました。

開される「高松うみあかりプロジェクト」では、市民の手によるオブジェ作りが進められています。作家の指導の下、誰もが簡単に扱える針金と紙を用いたオブジェは、完成したのちに港と商店街に展示され、市内を彩ります。アーティストの手による作品ばかりでなく、市民参加による作品が展示されるのも、瀬戸内国際芸術祭の見所です。

高松一椿昇 高松うみあかりプロジェクト (参考画像：京造ねぶたワークショップ作品 2009年) 作家の指導を受け、市民が自らの手で作品を創造するプロジェクトとして芸術祭を盛り上げる。ねぶたのように針金で型を作り和紙を貼って仕上げていく。世代を超えたグループでの共同作業を通じて完成した作品達が、光るオブジェとして港やまちに並ぶ日も近い



女木島の集落に築かれた防風防潮用の石垣「オオテ」。独特の島の景観を醸成、訪れた全ての者を魅了する(上写真) 大竹伸朗/graf直島銭湯「I♥湯」撮影・渡邊修 (下写真)



フリー乗車券など 鑑賞者の利便配慮

芸術祭の開催に合わせ「芸術祭フリー乗船2日券」も発売されることとなりました。バスや電車などでは「フリー乗車券」の発売は珍しくありませんが、船を対象とした試みは日本初。関係者の努力の賜物といえます。

乗船券の対象は▽芸術祭の玄関となる高松港・宇野港から会場となる7つの島を結ぶ経路▽7つの島どうしを結ぶ経路——に該当する全ての有料航路。フェリー、高速旅客

【芸術祭会場への航路】



船の区別なく、2日間なら何度でも乗船することができ、8社11航路19区間、1日あたりだと約100便に乗り放題となる乗船券は、規模・

内容とともに画期的なもの。販売価格も割安に設定されており、鑑賞者に対する利便性の向上が図られています。

「芸術祭フリー乗船2日券」を利用すれば期間中(7月19日～10月31日)は7つの島を結ぶ8社11航路19区間が乗り放題となる。

このほか、1作品に対し鑑賞を1回に限定するもの、会期中の有効期限を切らない作品鑑賞パスポートも準備し、さらなる鑑賞者への利便性向上が図られています。関係者では、芸術祭に対する取り組みが瀬戸内海全域へと広がるよう期待しつつ、3年ごとの開催を目指しています。今年の芸術祭は、記念すべき第1回目。世界に冠たる芸術祭へと育むことを目標として、事業は進められています。すでに開催前から国内外の熱い視線が注がれている芸術祭は、一見の価値大です。

市議会活動の実態

②

議員・委員会提出による議案状況など

前号に続き、本会が平成21年12月31日現在の全国806市(東京都23区を含む)を対象に実施した「市議会の活動に関する実態調査結果」の概要を掲載します。

議員提出による議案

「議員提出による議案別件数(調査結果本文21ページ参照)表1」によると、21年中に議員発議により提出された「議案総件数」は1万389件。1市平均12・9件に及んでいる。

内訳別では「意見書案」が6517件と最も多く、全体の63%。次いで「その他の議案」が1669件、「条例案」が1294件、「決議案」が746件、「規則案」が163件と続く。

ら1635件減少するなど、結果にばらつきがみられた。

なお、議員提出議案1万389件の議決態様別件数については、「原案可決」が9098件と最も多く、全体の88%。次いで「否決」が1137件(11%)、「審議未了・撤回・その他」が77件(0・7%)、「継続審査」が56件(1%)などとなった。

議会人事

- ▽議長 松戸進(5・12)
- ▽副議長 吉村謙(5・12)
- ▽東金 増田正博(5・12)
- ▽泉大津 西尾浩次(5・12)
- ▽河内長野 藤川俊(5・12)
- ▽大阪狭山 伊藤泰雄(5・12)
- ▽美馬 神田省明(5・13)
- ▽伊那 岩瀬昭一(5・13)
- ▽藤岡 木村健吾(5・13)
- ▽日高 岩田一洋(5・13)
- ▽蒲郡 鈴木八重久(5・13)
- ▽江南 野間芳実(5・13)
- ▽鈴鹿 安井善保(5・13)
- ▽羽島 安井善保(5・13)

- ▽美濃 佐藤好夫(5・13)
- ▽明石 住野勝美(5・13)
- ▽砺波 井上三男(5・14)
- ▽下野 岡本鉄男(5・14)
- ▽磐田 河島直明(5・14)
- ▽北名古屋 長瀬悟康(5・14)
- ▽副議長 早野誠(5・12)
- ▽東金 小林修平(5・12)
- ▽泉大津 小野修(5・12)
- ▽河内長野 岸本秀俊(5・12)
- ▽大阪狭山 片岡由利子(5・12)
- ▽美馬 原政義(5・12)
- ▽伊那 飯島尚幸(5・12)
- ▽藤岡 山田朱美(5・13)
- ▽日高 石井幸良(5・13)
- ▽碧南 竹内廣治(5・13)

- ▽蒲郡 喚田孝博(5・13)
- ▽江南 野下達哉(5・13)
- ▽鈴鹿 大杉吉包(5・13)
- ▽羽島 糟谷玲子(5・13)
- ▽美濃 児山廣茂(5・13)
- ▽明石 出雲晶三(5・13)
- ▽砺波 稲垣修(5・14)
- ▽下野 松本賢一(5・14)
- ▽磐田 加藤治吉(5・14)
- ▽北名古屋 平野弘康(5・14)
- ▽事務局長 佐瀬豊明(5・1)
- ▽東金 佐瀬豊明(5・1)

行事予定

▽7月21日 都市行政問題研究会 役員会(午後3時、)

- ▽那覇市 7月22日 地方行政委員会 正副委員長会議(午前11時半、全国都市会館)・委員会(午後1時半、都市センター1会館)
- ▽7月26日 建設運輸委員会 正副委員長会議(午前11時、全国都市会館)・委員会(午後1時半、同)
- ▽7月29日 社会教育委員会 正副委員長会議(午前11時、全国都市会館)・委員会(午後1時半、同)
- ▽8月6日 広域行政圏市議会協議会 監事会議(午後1時、全国都市会館)・正

▽泉南市(大阪府) 072(483)0008 ※FAX番号は変更なし

電話番号等変更

▽つくば市(茨城県) 305-8555 つくば市町間2530番地 029(883)1322 029(868)7635

議事所在地変更

副会長・監事・相談役会議(午後2時半、同)

【表1】議員提出による議案別件数 (平成21年1月1日～12月31日、806市)

	条例案	規則案	意見書案	決議案	その他	計
5万未満(254市)	353	39	1,574	236	425	2,627
5～10万未満(266市)	375	54	1,654	202	522	2,807
10～20万未満(159市)	303	42	1,528	159	443	2,475
20～30万未満(43市)	74	7	476	44	124	725
30～40万未満(30市)	50	10	445	25	49	579
40～50万未満(21市)	46	6	310	27	44	433
50万以上(15市)	35	0	169	18	15	237
指定都市(18市)	58	5	361	35	47	506
全市(806市)	1,294	163	6,517	746	1,669	10,389

委員会提出による議案

平成18年の自治法改正により、従来の法第112条及び149条による議員による提案権に加え、第109条で常

任委員会への議案提出が認められた。

平成21年中の「委員会提出による議案別件数」は表2のとおり。これによると、「総件数」は1698件で1市平均の件

【表2】委員会提出による議案別件数 (平成21年1月1日～12月31日、806市)

	条例案	規則案	意見書案	決議案	その他	計
5万未満(254市)	101	26	422	35	44	628
5～10万未満(266市)	88	27	392	37	21	565
10～20万未満(159市)	54	12	174	21	19	280
20～30万未満(43市)	10	4	49	5	3	71
30～40万未満(30市)	8	3	27	0	2	40
40～50万未満(21市)	4	2	26	4	4	40
50万以上(15市)	1	0	13	0	0	14
指定都市(18市)	6	1	41	8	4	60
全市(806市)	272	75	1,144	110	97	1,698

数は2・1件となった。内訳を見ると、「意見書案」が1144件で最も多く、全体の67%。次いで「条例案」が272件、「決議案」が110件、「その他」が97件、「規則案」が75件の順となった。

また、「議案別の議決態様件数」では、「原案可決」が1681件と99%を占めており、委員会提出議案の可決割合が極めて高いことが分かった。